



OSAKI

第 97 期 中間報告書

平成22年4月1日から
平成22年9月30日まで

大崎電気工業株式会社

行動指針

O PENMIND

お客様に喜ばれる製品づくりを第一に心がけます

S OCIETY

社会と調和し、社会とともに発展を目指します

A CTIVITY

一人ひとりの力を最大限に活かし、夢とゆとりを創りだします

K NOWLEDGE

広く外の動きに関心を持ち、新しいものに積極的に挑戦していきます

I NTEGRATION

会社全体の立場にたって考え、協力体制を作っていきます

C O N T E N T S

- 株主の皆様へ…………… 1
 - 四半期連結財務諸表 …… 4
 - 当社製品のご案内………… 6
 - 会社の概要…………… 8
 - 株式の概況…………… 9
 - 株主メモ
-

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、第97期第2四半期決算（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。



取締役会長

渡邊 佳英

●企業集団の現況に関する事項

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資に持ち直しが見られる等回復の兆しが現れてはいますが、海外景気の下振れ懸念や円高、デフレの影響等リスク要因も多く、全般的には足踏み状態となっております。

当社グループの経営環境は、計測制御機器事業では、主力取引先である電力会社向けの新型電子式電力量計の需要が未だ本格化していないことに加え、若干回復傾向は見られるものの低迷する住宅着工戸数等の影響を受け伸び悩んでおります。また、メーカー間の競争状態も依然として激しく、製品価格の低下が続くなど厳しい状況が継続しております。一方、FPD（フラットパネルディスプレイ）関連装置事業におきましては、主要顧客が属するデジタル家電業界において一部に設備投資の回復の動きはでているものの、全体としては設備投資の抑制の影響が大きい状況のもとで推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループは販売促進活動ならびに原価低減活動を推進するなど売上の拡大と経営効率化に取り組み、全社をあげて業績の向上に努めてまいりました。

売上高につきましては、FPD関連装置事業において当第2四半期に計画していた物件の売上が10月以降にずれ込んだこと、配電盤等の盤製品の売上高が減少していること等により、前年同期比9.0%減の204億8千7百万円となりました。

利益面につきましては、計測制御機器事業において比較的収益力の良い製品の構成比率が上がったこと、FPD関連装置事業が大幅に収支改善したこと等により前年同期の水準を上回りました。この結果、営業利益は前年同期比26.4%増の12億7千1百万円、経常利益は前年同期比27.8%増の14億4千3百万円、四半期純利益は前年同期比81.5%増の4億4千4百万円となりました。

当社グループのセグメント別当第2四半期連結累計期間業績の状況は次のとおりであります。

(計測制御機器事業)

当事業は、配電盤等の盤製品の売上が減少したこと等により売上高は減少しましたが、電力会社向けの電子式電力量計や市販向けの省エネルギー関連製品等比較的収益力の良い製品の構成比率が上がったこと等により増益となりました。この結果、売上高は前年同期比5.6%減の187億7千4百万円、営業利益は前年同期比6.2%増の11億7千6百万円となりました。

(FPD関連装置事業)

当事業は、当第2四半期に計画していた物件の売上が10月以降にずれ込みました。このため売上高は減少したものの、利益面では原価低減ならびに経費削減効果もあり大幅な収支改善となりました。この結果、売上高は前年同期比36.9%減の15億3千9百万円、営業損失は前年同期比1億9千8百万円減の0百万円となりました。

(不動産事業)

当事業の売上高は前年同期比0.5%増の2億3千9百万円、営業利益は前年同期比8.1%減の8千9百万円となりました。

なお、セグメント別売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高6千6百万円を含めて表示しております。

● 通期の見通しと配当金について

当社グループにとりましては、低迷が続く住宅着工戸数やメーカー間の競争激化など予断を許さない経営環境が続くものと思われまます。

厳しい環境下ではありますが、計測制御機器事業では今後需要の拡大が期待される次世代型家庭用電子式電力量計、FPD関連装置事業では薄型テレビ用ディスプレイパネルの製造装置を中心に売上高の拡大に向け販売活動を一層強化するとともに、引き続き製造コストの低減を推進し、経営体質の強化ならびに収益力の向上に努めてまいります。

通期の業績につきましては、売上高470億円、営業利益27億円、経常利益29億円、また当期純利益につきましては13億円を見込んでおります。

なお、中間配当金につきましては、当初の計画通り1株につき6円00銭といたしました。また、通期の配当金につきましては、中間配当金6円00銭と合わせて1株につき12円とする予定であります。

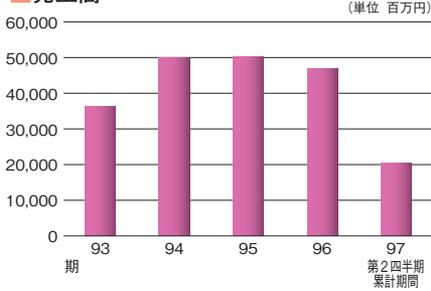
株主の皆様におかれましては、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

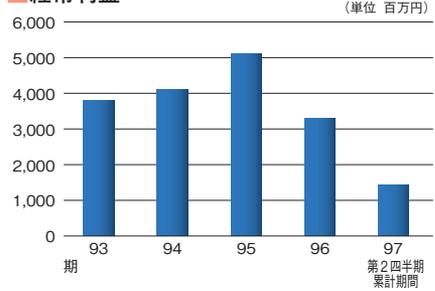
取締役会長 渡邊 佳英

●業績の推移

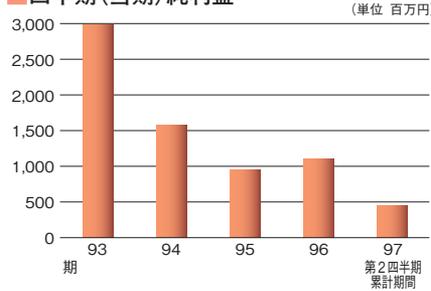
売上高



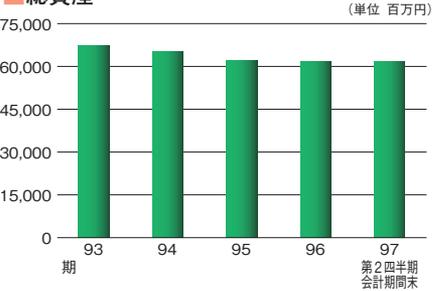
経常利益



四半期(当期)純利益

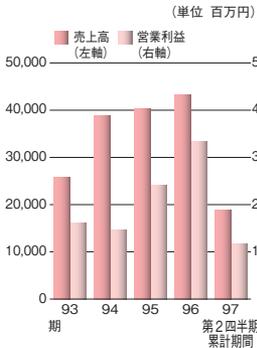


総資産

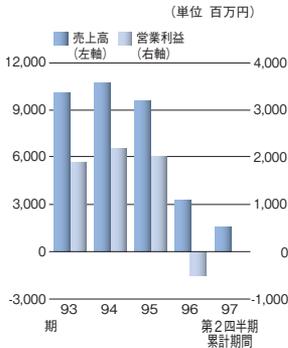


●セグメント別売上高、営業利益

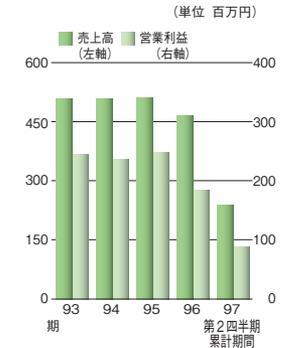
計測制御機器事業



FPD関連装置事業



不動産事業



四半期連結財務諸表(要旨)

● 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

区 分	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	30,469	27,319	30,981
固定資産	31,111	31,976	30,683
有形固定資産	22,736	22,713	22,504
無形固定資産	570	749	657
投資その他の資産	7,804	8,513	7,520
資産合計	61,581	59,295	61,665
負債の部			
流動負債	9,924	8,313	10,134
固定負債	13,323	13,310	12,952
負債合計	23,247	21,623	23,086
純資産の部			
株主資本	25,289	24,476	25,070
資本金	4,686	4,686	4,686
資本剰余金	4,770	4,768	4,768
利益剰余金	16,334	15,482	16,114
自己株式	△ 501	△ 461	△ 499
評価・換算差額等	△ 843	△ 615	△ 507
その他有価証券評価差額金	△ 381	△ 139	△ 45
為替換算調整勘定	△ 462	△ 476	△ 462
新株予約権	138	74	74
少数株主持分	13,748	13,736	13,941
純資産合計	38,333	37,672	38,578
負債純資産合計	61,581	59,295	61,665

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

区 分	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	20,487	22,508	46,774
売上原価	14,672	16,813	34,453
売上総利益	5,815	5,694	12,321
販売費及び一般管理費	4,543	4,689	9,310
営業利益	1,271	1,005	3,011
営業外収益	230	191	423
営業外費用	58	67	133
経常利益	1,443	1,129	3,301
特別利益	7	6	9
特別損失	164	144	517
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,285	991	2,794
法人税、住民税及び事業税	560	312	1,130
法人税等調整額	46	315	242
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	678	—	—
少数株主利益	233	118	320
四半期(当期)純利益	444	245	1,101

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

区 分	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,191	1,292	4,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,303	△ 2,582	△ 4,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 918	△ 905	△ 1,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3	0	2
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	1,572	△ 2,194	△ 1,296
現金及び現金同等物の期首残高	10,738	12,034	12,034
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	12,310	9,840	10,738

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社製品のご案内

小型軽量の電子式電力量計「コンパクトEM」

●先駆者

当社は、「コンパクトEM」と呼ぶブレーカーサイズの電子式電力量計を他社に先駆け平成13年より販売しております。現在販売中のものは、液晶表示部が上下左右4方向に回転できる他、電流・電圧・相線式の各種定格への対応や外部出力機能も備え、様々な用途に対応できるラインアップとなっております。

外形・質量は従来の機械式電力量計と比較して大幅に小型・軽量化をはかっておりますので、本製品を収納する分電盤を小さくできます。これにより、工場、テナントビル、オフィスの省スペースが実現できます。また、外部出力機能を利用したきめ細かい検針は集中自動検針やビル管理システム等への対応も可能で、幅広い用途にご使用いただけます。

なお、この計器は、日本電気計器検定所の検定を受けて電気料金の取引用（証明用）に使用できる電力量計です。

EM：電子式電力量計（Electronic Watt-Hour Meter）

●特長

1. 小型・軽量

- ・従来の機械式計器と比較した場合、設置面積で5分の1、重さで7分の1、容積で10分の1となっております、省スペース化に寄与します

※当社機械式電力量計（120A計器）と比較した場合

2. 液晶表示部が回転

- ・液晶表示部が、計器本体の取り付け方向に合わせて上下左右4方向に回転可能です

3. 充実のラインアップ

- ・相線式： 単相2線式、単相3線式、三相3線式
- ・定格電流： 30A・120A・250A・5A（変成器付計器）
- ・外部出力形式：発信装置付（パルス出力）・通信機能付（2線式カレントループ）

4. ブレーカーとジャストフィット

- ・分電盤用のブレーカーと接続端子の高さを揃えました
- ・液晶表示部の高さが分電盤用ブレーカーと同一です

5. 簡単な施工

- ・外部出力端子を片側に配置しました
- ・レール取付部品を標準装備しています

使いやすさと高機能をコンパクトに。 コンパクトEMが充実のラインアップ!



A6CA-S31R
100V 120A
100(W)×96(H)×65(D)mm



A6CA-S31R
100V /5A
100(W)×96(H)×65(D)mm



A6CA-R
100V 250A
120(W)×120(H)×65(D)mm

歴史ある大崎の高い信頼性を誇る電力量計、
コンパクトEMのラインアップ!
機械式に比べ、分電盤の省スペース化に寄与。

■充実のラインアップ

30A、120Aおよび250Aの単独計器に加え、/5Aもシリーズ化し、幅広い電流定格へ対応できます。また、目的に応じて発信装置付と通信機能付(2線式カレントループ)が選択可能です。(従来シリーズとして、LonWorks® 通信機能付も用意しています。)

■計量値の正立表示が可能

電源接続方向に合わせ、表示を回転でき、計量値の正立表示が可能です。取り付け方向を選びません。

■ブスバー配線が容易

ブレーカーと直結可能な端子の高さ24mm、発信出力端子の片側配置と施工が容易です。

電流 (A)	相線式	外部出力形式	形名	
30A 120A	単相2線式	発信装置付	A5CA-S31R	
		通信機能付	A5CA-R	
	単相3線式	発信装置付	A6CA-S31R	
		通信機能付	A CA-R	
	三相3線式	発信装置付	A7CA-S31R	
		通信機能付	A7CA-R	
250A	単相3線式	発信装置付	A6CA-S31R	
		通信機能付	A6CA-R	
	三相3線式	発信装置付	A7CA-S31R	
		通信機能付	A7CA-R	
	/5A	単相2線式	発信装置付	A5CA-S31R
			通信機能付	A5CA-R
単相3線式		発信装置付	A6CA-S31R	
		通信機能付	A6CA-R	
三相3線式		発信装置付	A7CA-S31R	
		通信機能付	A7CA-R	

※LonWorks®は、Echelon corporationの登録商標です。

会社の概要 (平成22年9月30日現在)

● 会社概要

■ 設立年月日	昭和12年1月26日	
■ 資本金	4,686百万円	
■ 主要な事業内容	電気機械器具、装置並びに一般機械器具、装置の製造及び販売	
■ 従業員数	479名	
■ 事業所		
本社	〒141-8646 東京都品川区東五反田二丁目10番2号 東五反田スクエア	電話 (03) 3443-7171 (代表)
埼玉事業所	〒354-8501 埼玉県入間郡三芳町藤久保1131番地	電話 (049) 258-1205
札幌営業所	〒060-0005 札幌市中央区北五条西五丁目2番地12 住友生命札幌ビル	電話 (011) 251-6622
仙台営業所	〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目5番1号 オーク仙台ビル	電話 (022) 223-3747
名古屋営業所	〒461-0004 名古屋市東区葵三丁目23番10号 千種ファーストビルかとう	電話 (052) 933-2229
大阪営業所	〒531-0072 大阪市北区豊崎三丁目20番9号 三栄ビル	電話 (06) 6373-2556
広島営業所	〒730-0041 広島市中区小町2番30号 第二有楽ビル	電話 (082) 243-1611
沖縄営業所	〒902-0077 沖縄県那覇市長田一丁目22番18号	電話 (098) 832-7406

(注) 名古屋営業所は平成22年11月15日に上記所在地へ移転いたしました。なお、電話番号は変更ありません。

● 役員

取締役会長 (代表取締役)	渡邊 佳英	取締役	広島 輝文
取締役社長 (代表取締役)	松井 義雄	取締役	平野 義夫
取締役副社長 (代表取締役)	渡辺 光康	取締役	根本 和郎
常務取締役	木村 雪男	取締役	山中 利雄
常務取締役	川端 晴幸	取締役	沼崎 邦明
常務取締役	飛澤 久夫	取締役	駒沢 聰
常務取締役	高野 澄雄	取締役	水田 茂
取締役	石田 義一	常勤監査役	吉野 伸
		監査役	高橋 健一郎
		監査役	阿蒜 達雄
		監査役	山本 滋彦

(注) 監査役のうち、阿蒜達雄、山本滋彦の両氏は、社外監査役であります。

● グループ会社

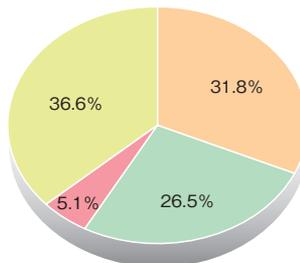
株式会社エネゲート	大崎データテック株式会社	大崎エステート株式会社
大崎電気システムズ株式会社	大崎テクノサービス株式会社	PT.METBELOSA
岩手大崎電気株式会社	大崎エンジニアリング株式会社	他3社
大崎プラテック株式会社	株式会社オー・イー・シー金沢	

株式の概況 (平成22年9月30日現在)

●株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 37,422,797株
(自己株式1,127,887株を除く)
 株主数 4,584名

●所有者別株式分布状況



●大株主

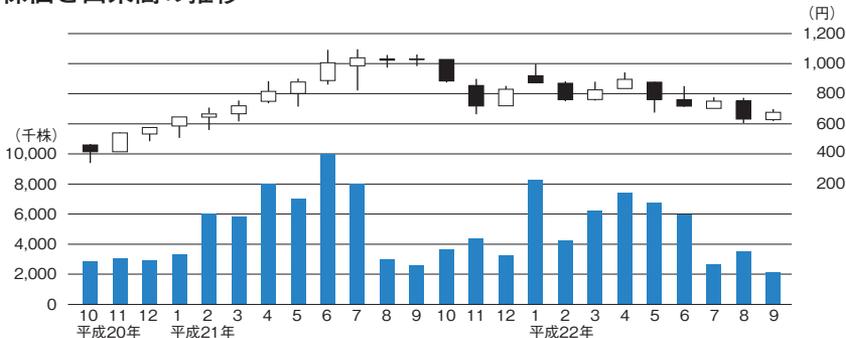
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,274	6.0
東京電力株式会社	1,779	4.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,578	4.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,552	4.1
渡邊和子	1,470	3.9
大崎電気工業取引先持株会	1,165	3.1
九州電力株式会社	1,109	2.9
富国生命保険相互会社	1,104	2.9
渡邊佳英	1,079	2.8
中部電力株式会社	1,020	2.7

金融機関 31.8%
 その他の法人 26.5%
 外国法人等 5.1%
 個人その他 36.6%

(注) 自己株式は個人その他に含まれております。

(注) 1. 出資比率は自己株式を控除して計算し、小数第2位以下を切り捨てて表示しております。
 2. 渡邊和子氏は平成22年8月18日に逝去されましたが、平成22年9月30日現在相続手続きが終了していないため、株主名簿のとおり記載しております。

●株価と出来高の推移



●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.osaki.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

大崎電気工業株式会社

東京都品川区東五反田二丁目10番2号

電話 (03) 3443-7171

ホームページアドレス <http://www.osaki.co.jp/>